



海禅寺新聞 第23号

暑さ厳しい季節も移ろい行き、朝晩はすつきり過ぎしやすい気候になってまいりました。しかし千葉県では台風15号による大規模停電が発生したりと、今年もこの季節に大きな災害がおこってしまいました。特に館山、南房総では甚大な被害がありました。たまたまご縁のある寺院が被災地にあり、電話連絡をとったところ、瓦屋根は飛ばされ、ベランダが吹き飛んだお宅もあつたそうです。ともかく今は電気が通っていないため、復旧作業も遅れがちで、かつ残暑厳しい中にありながらもエアコンが使えず、水風呂に入る生活とのこと。幸いに地域全体を見ても人命に影響はないとは言うものの、大変なご苦労があるようです。謹んで災害に遭われた皆さまの復旧復興を心よりお祈り申し上げます。

こうした事態を受けて、仏教界でも支援活動が徐々に始まっています。海禅寺でも真言宗智山派、および宗派の青年会活動を通じて参加しています。また次号の新聞でその状況をご報告いたします。尚、支援金や物資のご協力をいただける方がおられましたら、どうぞお申し出ください。間違いのない方法とルートで活用させていただきます。



生きる力 vol.98 送付

「生きる力 vol.98」をお届けします。今回の特集は前回の続編『お彼岸だからこそ考えよう 亡き人を安心して送り・供養するために② 感謝と心の葬儀』です。お彼岸の意味から感謝の心、そしてお葬儀について詳しく書かれています。ご先祖様や亡き方に想いを馳せるお彼岸だからこそ、お葬儀について、今一度見つめる機会としていただければ幸いです。

また先日、あるお檀家さんから、この小冊子「生きる力」と海禅寺新聞を読むことを楽しみにしているというお言葉をいただきました。嬉しいお言葉、大変に励みになります。機会がございましたら皆さんのご意見ご感想を、ぜひ寺までお寄せ下さい。

秋彼岸会 中日法要のご案内

恒例の秋彼岸会法要を海禅寺本堂にてお勤めいたします。どうぞご家族おそろいでお出かけください。(申込不要)
日程：令和元年9月23日(月)
時間：受付 午前10時～
法要 午前10時半～

※法要終了後は、皆さんで茶話をいたします。

※認定NPO法人「新田の風」が作成しているエンディングノート『人生のしまい方』がこの度リニューアルしました。当日ご紹介いたします。

※彼岸会法要の供養塔婆をご希望の方は、19日(水) 夕刻までに電話またはファックスで、寺にお申し込みください。
(供養塔婆料 一基 3000円)

電話：0268-22-2972
Fax：0268-26-1146



海禅寺数珠つなぎ

海禅寺にかかわる皆さんの声を、お数珠のようにつなげ、ご紹介していきます

10人目

門前のお地藏さんと竹内いね子さん

今回は海禅寺門前でもいつも皆さんを見守っているお地藏さん(六地藏)と縁の深い竹内いね子さんです。



たくさんおられる仏さまの中で、お地藏さんは、特に親しみを感じるという方も多いのではないのでしょうか？しかしこのお地藏さん、正式には地藏菩薩と言いますが、元々はインドで生まれた神様でした。サンスクリット語で原名を「クシテイガルバ」と言います。直訳すると「大地の母胎」という意味になり、古代インドでは大地そのものを人格化した女神でした。「地藏」という名前は、大地のようにどっしりと不動で、人々に代わって苦しみを受けても傷つかず、地中に種子や宝を秘蔵して腐らせず朽ちさせないように人々を守ることから名付けられました。そしてインドから中国を経由して仏教が日本に伝わってきた際に、当時の中国で流行していたお坊さんの姿に像を作る様式に影響を受けて、今ではお馴染みのお地藏さんのお姿が生まれました。

またお地藏さんは世界を6つに階層化する仏教的世界観である六道(地獄・餓鬼・畜生・修羅・人・天)のいずれにも現れて、すべての生き物を救う仏さまです。地獄や餓鬼道を錫杖をついて歩き、賽の河

原で子どもを助け、閻魔さんの法廷では罪人の弁護にあたり、亡者の苦しみを引き受け、現世では子授け祈願や安産祈願など子どもに関わる願いまで聞き届けます。こうした性格をあらためて見ると、あらゆる仏さまのなかで、最も庶民派の仏さまと言えるでしょう。

加えて日本には古来、外から入ってくる災いや悪霊を防いでくれる「サイの神」の信仰がありました。上田市内にも各所で見られる道祖神がそれですが、お地藏さんはこの道祖神と一体化し、村の境や辻、墓地の入り口などに祀られるようになりました。結果として、いつでも誰でもお参りできる身近な存在として私たちの生活に馴染んできたのです。海禅寺のように寺院の門前にお地藏さんが祀られているのは、寺院という聖域と外との境を守る役割もあるのでしょうか。

海禅寺門前の六地藏さん。年間を通じてお参りのお檀家さん達、隣接する芙蓉園の子どもたち、職員が手を合わせ、その願いを受けとめ、皆を守ってくださいています。時にはお賽銭や飴などが御供えされることもあります。余談ですが昨年の夏、酷暑暑いある日のこと、お地藏さんの前を通ると、なんと部分入れ歯がお供えされていた。お供えなのかはたまた落とし物なのかはわかりませんが、夏の日差しに照りつけられて、それから1ヶ月ほどお地藏さんの足元にその部分入れ歯は供えられ続けました。何かの願掛けだったのでしょうか。ちよつとした珍事でした。

ところでこの六地藏さんが身につけている赤い帽子と前掛けが毎年お盆前になると真新しいものにお召し替えされていることにお気づきでしょうか？これは門前にお住まいの竹内いね子さんが、毎年手

作りし、ご奉納くださっているものです。

このお役目は元々、竹内さんのお姑さんが各お堂の正面に掲げられている額の布団を長らく作っておられたことがきっかけとなつています。嫁いでいらつしやつた竹内さんが今ではそれを受け継ぎ、寺の額布団とお地藏さんの帽子前掛けをお作りになつています。今回、竹内さんにどんな思いを込めて作ってくださっているのかお尋ねしたところ、「皆さんが元気でいられるように見守ってください」という願いを込めているとのこと。また「こうして自分が毎年元気で作れること自体がありがたいという気持ちです」ともおっしゃつておられました。仏教は、単に仏さまに祈ることだけが大事だと教えていません。合わせて自分が少しでも仏さまのようにあることを目指すことを説いています。まさに竹内さんの心境は、他者を深く思いやる仏さまのような心であると感激しました。

雨の日も風の日も、じつと門前で皆さんを見守るお地藏さん。お寺にお参りの際にはぜひ足をとめて、心静かに手を合わせてみてください。きつと皆さんの心の中にお住まいのお地藏さんに出会えることと思ひます。

(文責：副住職)



※参考文献：「日本のほけさまに甘える」東邦出版

副住職の気まぐれ法話

「吐く」と「吐く」



今回は「ことば」と「言葉」についてお話しします。言葉(ことば)とは、日本において言葉に宿ると信じられてきた霊的な力のことです。私たち日本人は、声に出した言葉が現実の事象に対して何らかの影響を与えると信じ、良い言葉を発すると良い事が起こり、不吉な言葉を発すると悪い事が起こるとしてきました。たとえば結婚式などで避けられる、「切れる」「分かれる」などの忌み言葉も、この言葉の思想に基づくものです。

この「言葉」について、おもしろい考え方に会いましたのでご紹介します。

私たちは日頃、いろいろな言葉を口から発しています。善いことも悪いことも自分の口から自分の意思で吐き出されています。この「吐く」という字、少々こじつけの感もありますが、「口」偏に「十」(プラス)と「一」(マイナス)で構成されています。口から前向きでポジティブなプラスな言葉と、後ろ向きでネガティブなマイナスな言葉が発せられるという行いの総称が、この「吐く」という字で表されているというのです。

そこで自分や人を傷つけてしまうようなネガティブでマイナス要因の発言を止めるとどうなるか。吐くという字からマイナスを取る・・・「吐く」という字になります。つまりネガティブな発言を止めて、プラス要因のポジティブな発言のみを意識して発していると、自分の夢や願いが叶いますよ！という訳です。

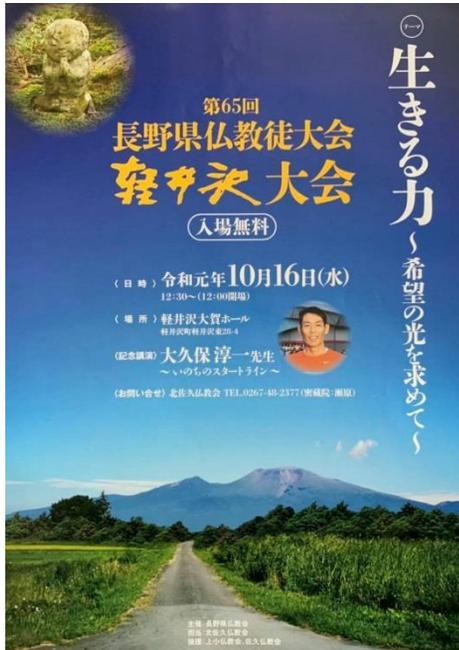
ご存じのように海禅寺が所属する宗派は真言宗です。「真言」とは仏教的な裏付けがされた呪術的な言葉を指しますが、

「真実の言葉」という意味を省略したものです。真言宗とは「真実の言葉を重んじる仏教宗派」とも言うことができます。つまり私たちが話す言葉を深い見地から見極め、その力を信じ活かそうという考え方を持っています。言葉の力を上手に活かすことは、私たちの日常そして人生を、良い方向に転換していく可能性を秘めています。ぜひ工夫しながら実践してみてください。

告知 第65回

長野県仏教徒大会 軽井沢大会

来月、軽井沢の大賀ホールにて、長野県仏教徒大会が開催されます。宗派を超えた県内の寺院が協力して開催される大行事です。この大会冒頭の開会式で、副住職が会長を務める真言宗智山派 長野北部教区青年会が、声明(しょうみょう)を披露することになりました。真言宗智山派では、雅な読経方法である声明が特に発達しています。今回は限られた時間の中で、声明と力強いご祈祷の読経も組み合わせる内容も予定しています。当日はどなたでも無料でご出席いただけます。ぜひ大勢の檀信徒の皆さまにお聴きいただけましたら幸いです。詳しくは寺までお尋ねください。



【長野県仏教徒大会 軽井沢大会】
日程：令和元年10月16日(水)
時間

- 開場 受付 12時
- 開会式 12時30分
- ・ 声明 智山青年会
- ・ 第1部 法要
- ・ 第2部 式典
- ・ 第3部 記念講演

「いのちのスタートライン」
講師：大久保純一先生

料金：無料
申込：9月30日(月)までにお申出下さい

【講師 大久保純一先生プロフィール】

シカゴ大学MBA卒業。ゴールドマン・サックス在籍(1999～2014)。2007年、精巣ガンと間質性肺炎を発病。5年生生存率20%と言われるなか一命を取り留め、翌年同社に復職。2013年にサロマ湖100kmマラソンに復帰し、2015年には悲願の病氣前自己ベストを更新。現在、がん患者支援活動NPO法人『5years』に従事する傍ら、執筆・講演活動を行っている。

御礼 寄附のご協力に感謝

過日、夏のご挨拶送付に合わせて宗祖弘法大師 空海さまのご生誕1250年の慶讃事業に対する浄財志納勧募をお願いいたしました。それぞれご事情のある中、ご協力をいただいております。心より感謝申し上げます。ありがとうございます。皆さまのお志を、海禅寺の景観整備のために大切に使用させていただきます。整備工事の進捗状況につきましては、追ってご報告いたします。

合掌